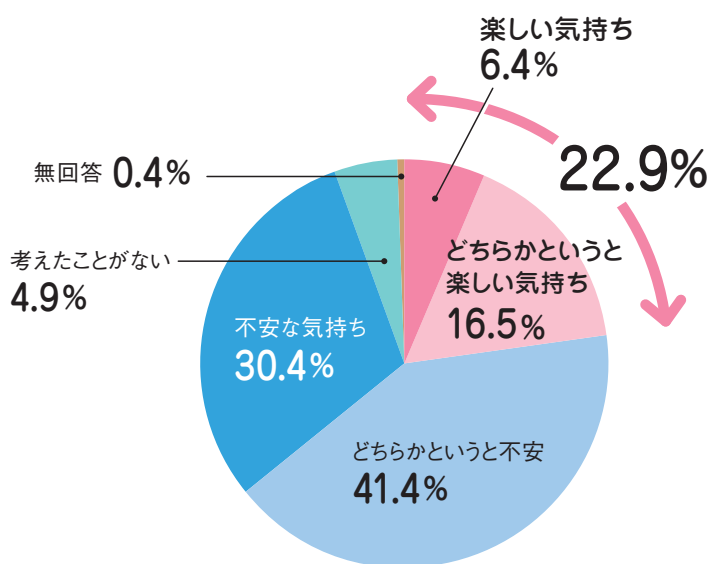


進路を考えると 「楽しい気持ち」になる

「第8回 高校生と保護者の進路に関する意識調査2017」



一般社団法人全国高等学校PTA連合会とリクルー
トが隔年で行っている合同調査で、見過ごせないデ
ータがありました。進路のことを考えると「楽しい
気持ち」になる高校生が、3割にも満たないことです。
「この道で間違っていないか。自信をなくさずがんば
れるか」「自分のやりたいことが見つからなくて」
「社会に出てうまくやっけていけるだろうか」。そんな
不安の声も寄せられました。
今、保護者の手を離れ、自分の足で未来に向かっ
て歩み出していく彼ら。本当は、将来への期待、
希望こそが必要なはずです。
子どもの自立を応援する立場から保護者として何
ができるのでしょうか。
すると、ひとつのヒントが見つかりました。それが
「夢や希望を大切にしないさい」などの声かけをされ
ている子どもは、「楽しい気持ち」になる割合が明ら
かに高いというこのデータ。保護者の日常の語りか
けや関わり方で、進路を考えるときの子どもの気
持ちに違いがあることがわかったのです。
また別の質問では、進路選択を、「保護者の意見を
少し参考にして自分で決めたい」と「保護者と一緒
に決めたい」子どもの合計が66%に達していました。

「夢や希望を大切にしなさい」と



言われている子は

28.6%

言われていない子は



19.7%

「あなたはどうしたい」
「あなたはどう思う」と

意見が尊重されている子は



24.2%

されていない子は

14.5%



「高校で何を
学んでいるか」
など高校での
生活に関して



会話している子は

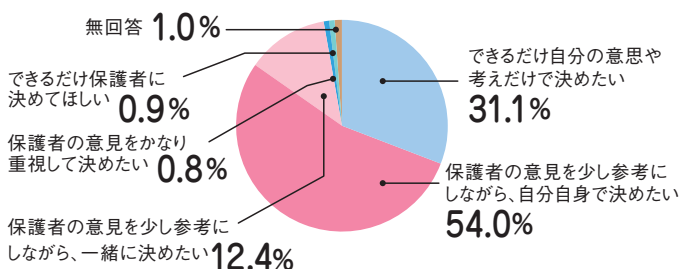
25.5%

会話していない子は



17.9%

Q 自分の進路選択を行う際、どのようにして決めたいと考えていますか。(単一回答)



高校生と保護者の進路に関する意識調査2017

- 調査対象／全国の高校2年生とその保護者
(全国高等学校PTA連合会より依頼した11都道府県の公立高校27校：2年生2クラス分の高校生と保護者)
- 調査期間／2017年9月15日～10月26日
- 調査方法／①高校生：ホームルームにてアンケートに回答
②保護者：高校生から保護者へアンケートを手渡し
③学級担任が高校生分と保護者分を取りまとめ、その後学校責任者が学校分として返送
- 回収数／高校生1,988、保護者1,733
- 有効回答数／高校生1,987、保護者1,722

子どもたちは、社会への入り口の前で、まだあと少しの間、保護者の関わりを求めています。ただし、それは「子どもを守る」ための関わりではありません。

子ども自身の選択を、受け止め、尊重し、応援し、励ます姿勢で、前に踏み出す勇気を与える関わりです。子どもが自分の未来を考えると、前向きで楽しい気持ちになれるよう、保護者も自信をもって子どもたちに関わってあげてください。